

著者略歴

【編著者】

川崎 興太 (かわさき こうた・Kawasaki Kota) 担当：序章，第1章，第3章

福島大学 准教授 専門：都市計画・まちづくり

1971年茨城県常陸太田市生まれ。1993年信州大学教育学部中学英語学科卒業，1995年信州大学大学院教育研究科修士課程修了。2008年工学博士（論文・筑波大学）。都市計画コンサルタントを経て，2010年福島大学准教授（現在に至る）

著書に『ローカルルールによる都市再生—東京都中央区のまちづくりの展開と諸相—』（単著，鹿島出版会，2009年），『人口減少時代における土地利用計画—都市周辺部の持続可能性を探る—』（共著，学芸出版社，2010年），『東日本大震災合同調査報告 都市計画編』（共著，日本都市計画学会，2015年），『裏磐梯・猪苗代地域の環境学』（共著，福島民報社，2016年），『自然災害—減災・防災と復旧・復興への提言—』（共著，技報堂出版，2017年），『環境復興—東日本大震災・福島原発事故の被災地から—』（編著，八潮社，2018年），『福島の除染と復興』（単著，丸善出版，2018年）など

【執筆者】

五十嵐 康記 (いがらし やすのり・Igarashi Yasunori) 担当：第2章

福島大学環境放射能研究所 特任助教 専門：放射能水文

1983年福島県生まれ。2007年東京農業大学卒業，2009年東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻修士課程修了。2013年同博士課程修了。博士（農学）。名古屋大学地球水循環研究センター，名古屋大学宇宙地球環境研究所を経て，2017年より福島大学環境放射能研究所研究員。2020年より同研究所特任助教。論文に，『Impact of Wildfire on ¹³⁷Cs and ⁹⁰Sr Wash-off in Heavily Contaminated Forests in the Chernobyl Exclusion Zone』（Environmental Pollution，2020年）など

井上 博夫 (いのうえ ひろお・Inoue Hiroo) 担当：第4章

岩手大学名誉教授，岩手大学客員教授 専門：財政学，地方財政論

1951年大阪府生まれ。東北大学大学院経済学研究科博士課程後期課程単位取得退学，経済学修士
著書・論文に持田信樹・今井勝人編『ソブリン危機と福祉国家財政』（共著，東京大学出版会，2014年），井上博夫「集中復興期間5年間の財政検証から見えること」『都市問題』107（3），pp.52-60，2016年，井上博夫「復旧・復興財政の検証—東日本大震災における復興基金と復興交付金事業における効果促進事業の活用実態を中心に—」『アルテス リベラレス』104，pp.103-120，2019年

窪田 亜矢 (くぼた あや・Kubota Aya) 担当：第7章

東京大学大学院工学系研究科 (都市工学専攻) 特任教授 専門：地域デザイン

1968年東京生まれ。東京大学大学院博士課程修了。都市設計コンサルタント会社、工学院大学准教授、東京大学准教授などを経て、2014年より現職

著書に『津波被災地域の復興検証—プランナーが振り返る大槌町赤浜の復興』(共著, 萌文社, 2018年), 『復興デザインスタジオ—災害復興の提案と実践』(共著, 東京大学出版会, 2017年) など

鈴木 浩 (すずき ひろし・Suzuki Hiroshi) 担当：第11章

福島大学名誉教授, IGES シニアフェロー 専門：地域計画論・住宅政策論

1978年東北大学大学院博士課程修了・工学博士。東北大学工学部助手, 国立小山高専助教授, 福島大学教授を経て, 2010年4月より福島大学名誉教授。和洋女子大学, 日本女子大学, 明治大学客員教授を歴任。2012年6月よりIGESシニアフェロー

著書に『講座現代居住3 居住空間の再生』(共編著, 東京大学出版会, 1996年), 『日本版コンパクトシティ』(単著, 2007年, 学陽書房), 『地域計画の射程』(編著, 八潮社, 2010年), 『地域再生—人口減少時代の地域まちづくり』(共編著, 日本評論社, 2013年), 『地域住民と原発事故の長期的影響—福島とチェルノブイリの教訓』(共編著, NERIS, 2016年)

関 耕平 (せき こうへい・Seki Kohei) 担当：第6章

鳥根大学法文学部 教授 専門：財政学・地方財政論

1978年秋田生まれ。2000年岩手大学卒業, 2005年一橋大学大学院経済学研究科博士課程単位取得退学, 博士(経済学)。2020年4月より現職

著書・論文に長谷川公一・保母武彦ほか編著『岐路に立つ震災復興：地域の再生か消滅か』(共著, 東京大学出版会, 2016年), 「鳥根県西部地震および鳥取県中部地震からの復興に向けた課題：局地的被害と激甚災害指定, 国による復興事業への地方財政措置をめぐって」『自治総研』2019年3月号, pp.22-45, 2019年, 門野圭司編著『生活を支える社会のしくみを考える：現代日本のナショナル・ミニマム保障』(共著, 日本経済評論社, 2019年)

田村 泰生 (たむら やすお・Tamura Yasuo) 担当：第10章

一般社団法人オープンデータポ 理事 専門：メディア時評・映像アーカイブ

1947年福島県生まれ。1969年同志社大学卒業後, 福島テレビに入社。この間, 福島県中央計算センター取締役, 福島映像企画取締役を併任。2017年より現職

著書・論文に「ふくしま行動宣言・3つの決意」(編集, 2015年)。テレビドキュメンタリーの作品に, 「千万人と雖も我往かん」(フジテレビ放送, 地方の時代映像祭優秀賞), 「平成助産婦革命」(フジテレビ放送, ギャラクシー賞優秀省・FNSドキュメンタリー大賞優秀賞) 制作など

難波 謙二 (なんば けんじ・Nanba Kenji) 担当：第2章

福島大学 教授 専門：環境微生物学

1964年岡山県生まれ。1987年東京大学卒業, 1989年東京大学大学院農学生命科学研究科水産学専攻修士課程修了。博士(農学)(1996年, 東京大学)。岡山県職員, 東京大学農学部, 同農学生命科学研究科助手を経て, 2005年より福島大学准教授, 2010年より現職。2015-2018年福島大学環境放射能研究所所長。著書に『地球環境調査計測事典 第3巻 沿岸域編』(共著, フジテクノシステム, 2003年), 『高レベル放射性廃棄物の地層処分と地球化学』(共著, 月刊地球, 2004年), 『阿武隈川流域の環境学』(共著, 福島民報社, 2011年), 『裏磐梯・猪苗代地域の環境学』(共著, 福島民報社, 2016年)。訳書に, 『微生物の地球化学』(共訳, 東海大学出版部, 2015年)

藤原 遥 (ふじわら はるか・Fujiwara Haruka) 担当：第5章

福島大学 准教授 専門：地域政策, 地方財政

1990年埼玉県生まれ。2013年高崎経済大学卒業。2015年一橋大学大学院修了。2019年福島大学准教授(現在に至る)

著書に『原発事故被害回復の法と政策』(共著, 日本評論社, 2018年) など

除本 理史 (よけもと まさふみ・Yokemoto Masafumi) 担当：第8章

大阪市立大学 教授 専門：環境政策論・環境経済学

1971年神奈川県生まれ。1994年早稲田大学卒業, 1999年一橋大学大学院後期博士課程単位取得。2005年一橋大学博士(経済学)。大阪市立大学准教授などを経て, 2013年から現職

著書に『環境被害の責任と費用負担』(単著, 有斐閣, 2007年: 環境経済・政策学会奨励賞), 『原発賠償を問う』(単著, 岩波書店, 2013年), 『公害から福島を考える』(単著, 岩波書店, 2016年) など

吉田 樹 (よしだ いつき・Yoshida Itsuki) 担当：第9章

福島大学経済経営学類 准教授 専門：地域交通政策

1979年千葉県生まれ。1998年福島大学入学, 2002年岐阜大学卒業, 2007年東京都立大学大学院都市科学研究科博士課程修了(博士(都市科学))。首都大学東京都市環境学部リサーチ・アシスタント, 同助教, 福島大学うつくしまふくしま未来支援センター特任准教授を経て, 2013年より現職。交通政策審議会地域公共交通部会臨時委員。

著書に『生活支援の地域公共交通』(編著, 学芸出版社, 2009年: 第35回交通図書賞(第一部: 経済・経営部門)受賞), 『土木計画学ハンドブック』(分担執筆, 2017年) など

